

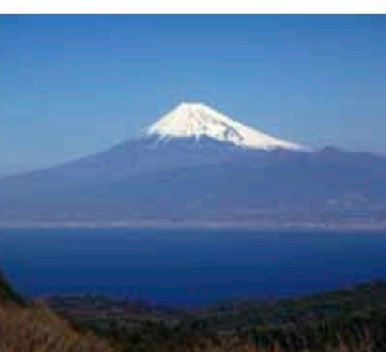
5 金冠山・きよせの森

きんかんざん

富士山の絶景地から野鳥・植物・森林浴の森へ

伊豆三絶（伊豆を代表する絶景地三ヶ所）の一つに数えられているのが「だるま山高原レストハウスからの富士山」である。ここは世界に知られた日本一の富士山の展望地として有名にしたのは、昭和14年（1939）に行われたニューヨーク万国博である。ここから写した富士山の大写真が日本の代表的風景として展覧されたのである。縦17尺（約53cm）、横108尺（約33cm）の大写真の全面に垂宗竹を配し、竹林越しに富士山が見られるように展示、大絶賛を博したと伝わる。ここを起点として富士山の好展望地として知られた金冠山へのハイキングコースは子供から中高年まで誰でも歩ける手頃なコースである。

新緑や紅葉の時期も良いが、何よ



▲だるま山高原の富士山

り富士山が良く見える秋から冬がよい。また、周辺はマメザクラの名所なので花の咲く4月中旬もおすすりだ。コースとしては金冠山からきよせの森を経てだるま山高原レストハウスに戻る周回コースがよい。

修善寺駅から戸田行きのバスで27分、だるま山高原レストハウスで下車。車利用の場合はレストハウスの駐車場（無料）を利用するとよい。県道を少し行くと金冠山への登山口がある。雑木林を登るとすぐに芝生の広場。3〜4月ごろは各種の桜が咲く所だ。金冠山までは広く切られた防火帯の道が緩やかに上っている。富士見コースと呼ばれるように時折、右手の樹林の上に富士山が望める。

道が平坦になると正面に丸い金冠山が見えてくる。辺りはアセビの群生地。2〜4月には垂状の真っ白な花があちこちにこんもりと咲いているのが見られる。マメザクラも多く、4月には辺り一面薄いピンク色で染まる。マメザクラは伊豆地方ではコマザクラともいい、富士山地方ではフジザクラ、箱根地方ではオトメザクラとかハコネザクラとも呼ばれる、直径2センチほどの桜である。防火帯が終わったら管理道（舗装）

を横断し10分足らずで金冠山の山頂に着く。弧を描く駿河湾を全景にした富士山をはじめ愛鷹山、箱根山、遠く南アルプスまで望める。

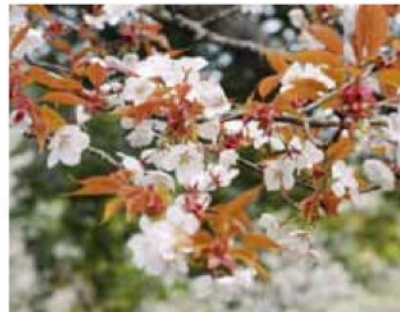
下りはパラボラアンテナの脇を通り北側の裾を廻り前の麓に出たら、そのまま舗装道を戸田峠へと下る。峠から左に県道を少し下る右手にきよせの森の入口がある。きよせの森は生活環境保全林で83種、1万8000本余りの樹木が植栽されている。保全林に入るとスギ・ヒノキの林で、道とはほぼ平行して小さな沢が下っている深流コース。一帯はマメザクラの群生地。花を愛でながら歩ける。

森はエンジュの森からツバキの森、木の実の森、野鳥の森、クヌギの森などに分かれているが、歩道同様、はっきりした表示がないので、どこをどう歩くか地図を確認しながら、自分は今、どこを歩いているか確認しながら歩いてほしい。……はモデルコース。

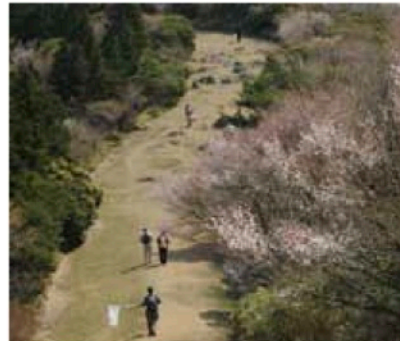
だるま池と野鳥の池が一つのポイント。この二つの池には天然記念物のハコネサンショウウオが生息している。森は植物や野鳥観察、森林浴には絶好の場所である。クヌギの森の急な歩道を上がるとだるま山高原レストハウス前になる。



▲ニューヨーク万国博に出品された富士山の大写真（複写）



▲マメザクラ



▲防火帯のような富士見コース



▲金冠山の富士山